

訂正とおわび

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。おわびして訂正いたします。 <https://toragi.cqpub.co.jp/category/correction/> (編集部)

■ 2021年12月号

● 特集 第4章

p.45 右段↓14行目：Webページ⁽⁶⁾の
→Webページ⁽⁶⁾⁽⁷⁾の

● 特集 第6章

p.53 図3(c)吹き出し：衝突の可能性が
ある領域→衝突の可能性のある領域(外
側)，必ず衝突する領域→必ず衝突する
領域(内側)

p.53 右段↑6行目：赤系が衝突領域を
示し，青系は衝突注意領域を意味してい
ます→内側が衝突領域を示し，外側は衝
突注意領域を意味しています

● 特集 第7章

p.55 写真1 図解を追加：本誌「訂正と
おわび」のWebページで公開しています。



p.58 左段↓20行目：視覚マークが数多
く必要だったり，視覚マークをロストした
場合の処理が必要だったり，障害物の回
避方法を用意したりするなど→視覚マー
クが数多く必要となること，視覚マー
クを認識できなかった場合の処理や，障害
物の回避方法を用意する必要があるなど

● 特集 Appendix2

p.62 右段↑4行目：③初期値から動作
確認まで→初期値設定から動作確認まで

● トラ技 Jr. コーナ 自走するバーコード 探偵「CODE39 ロボ」の製作

p.134 表1：[I-07266] フォトリフレク
タ(反射タイプ)TPR-105F Dランク→
[I-12626] フォトリフレクタ(反射タイ
プ)TPR-105F DAランク

p.134 表1 4ピン・コネクタ付きケーブ
ル：個数(個)4→個数(個)2，価格(円)
400→価格(円)200

● 連載 CMOSレベル・シフタの活用研究

p.159 図15 製品例：TC7SPN324→
TC7SPN334

● 連載 FFT アナライザの科学計測応用

p.197 図8のサブ・キャプション：891
～1221 Hzを含有する継続信号→891～
1122 Hzを含有する継続信号